

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年度実績報告書

令和3年8月5日

福岡県新宮町

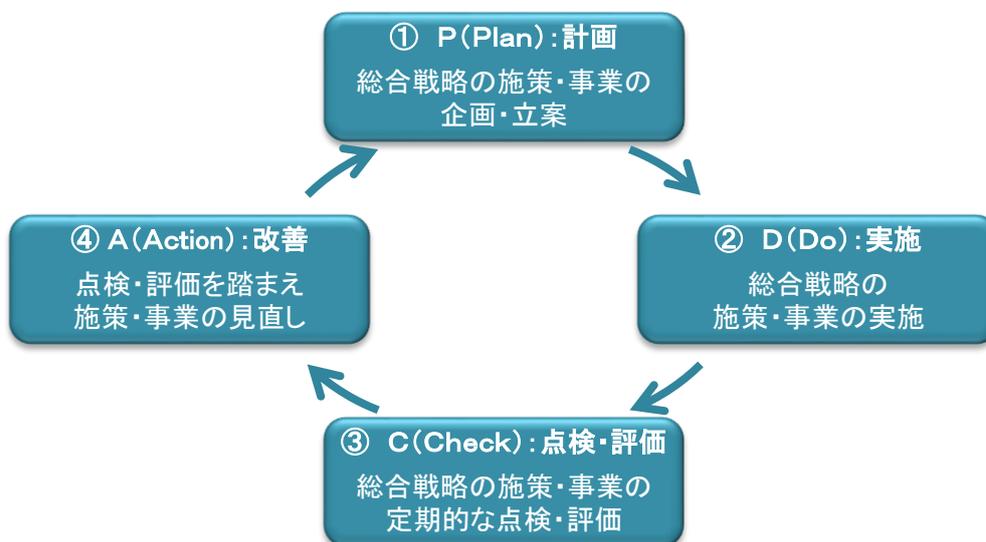
【はじめに】

1 総合戦略の位置付け

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「新宮町総合戦略」という。）は、新宮町人口ビジョンにおいて提示する将来展望を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条の規定により、新宮町における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」に一体的に取り組むため、令和2（2020）年度を初年度とする今後5か年（令和6（2024）年度まで）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

2 施策検証について

国の総合戦略における政策4分野ごとに設定した数値目標や国の各政策分野の具体的な施策ごとに客観的な重要業績評価指標（目標値）を基に、実施した施策・事業の効果を外部有識者などの参画により検証し、必要に応じて新宮町総合戦略の改訂を行うことにより、PDCAサイクルを確立させ、適切な進行管理を行うこととしています。



※PDCAサイクルとは、Plan(計画)、Do(実施)、Check(点検・評価)、Action(改善)のプロセスを実施し、最後の改善(A)では評価(C)の結果から、最初の計画(P)の内容を継続・修正・破棄のいずれかにして、次回の計画(P)に結びつける。このらせん状のプロセスを繰り返すことにより、品質の維持・向上及び継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。

3 持続可能な開発目標（SDGs）について

SDGs(SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)は国際社会全体の普遍的な目標で、「誰一人取り残さない社会」の実現を目指し、「経済」「社会」「環境」をめぐる広範囲な課題に対して統合的に取り組むもので、令和12(2030)年を期限とする包括的な17の目標と、目標を達成するための169のターゲットで構成されています。

本町においても新宮町総合戦略においては、SDGsの理念に沿って地域活性化の取組を行い、持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。



【基本目標ごとの実績】

＜基本目標１＞

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

（方向性）

新宮町総合戦略では、立地条件や労働力などの強みを活かし、課題を克服することにより、新たな企業誘致を推進していくとともに、既存の企業や商店のPRや育成にも取り組んでいきます。また、農林漁業については、豊かな自然資源と好立地を生かした販路の拡大や担い手の確保にも取り組んでいきます。

地域産業の育成・活性化により、町内に雇用を創出し、町外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を創り、持続可能な「まち」の活性化を図っていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
町内事業所数（件）	1,155	1,250	—	1,200

（資料：市町村税課税状況等の調査 法人税納税義務者）

施策－１ 地域経済を牽引する企業誘致・育成に資する取組

本町の交通利便性など好立地の環境を活かした、流通業務施設、商業施設などの誘致や立地を積極的に推進するとともに、誘致や立地に必要な環境づくりに努め、地域を牽引する企業育成を進めていきます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 県道湊・下府線沿線について、土地区画整理事業にて土地利用を進めるべく、地区計画決定に向けた地元及び福岡県と協議を行いました。
- ・ 三代地区の市街化区域編入に向けて、都市計画の変更や農用地区域除外の手続きを進め、令和３年度初旬の市街化区域編入の目処がつかしました。
- ・ スマートインターチェンジについて、地元立花口区との調整を行い、詳細検討に着手しました。また、検討地区周辺の土地利用について、開発検討事業者や福岡県との協議を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
流通業誘致数 (件)	—	—	0	1
商業施設誘致数 (件)	—	—	0	3
その他企業の誘致数 (件)	—	—	0	1

施策－２ 中小・個人事業者の生産性向上に資する取組

本町の好立地を活かした企業の誘致や消費拡大を図るとともに、商工会との連携を図りながら、既存商店や事業所の活性化のため、情報交換の場を充実させ、魅力づくりを研究していきます。また、町内製品のPRや特産品開発の支援を進めていきます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のためPRイベント等はすべて中止となりましたが、新たな販路拡大の取組として、一般社団法人新宮町おもてなし協会とともに直販サイト開設に向けた検討を行いました。
- ・ 特産品開発として、過去に開発した「ひじコロ」、「ひじコロバーガー」、「みかんジェラート」、「アコヤ貝の貝柱の瓶詰（粕漬け、オイル漬け、めんたい漬けの3種）」及び「みかん塩」の5種を継続的に生産し、ふるさと納税の返礼品やイベントでの販売を行いました。
- ・ 外出自粛などにより消費が低迷することを防止するため、フードデリバリーを実施したい飲食店への支援を実施しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
特産品開発数 (品)	—	5	5	5
情報交換の場の創設数 (件)	—	—	0	5
販路拡大の件数 (件)	—	—	1	10

施策－３ 創業や事業承継による地域産業の活性化に資する取組

地域経済の継続的な振興を行うためにも、地域発の創業を支援するとともに、IoT等の新たな産業の活性化や、新たな働き方に合わせた環境を整備する必要があることから、商工会・金融機関などとも連携を図り事業承継や、新たに創業しやすい環境の整備を進めていきます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 4町（粕屋町、篠栗町、久山町、新宮町）の共同主催で創業塾を開催し、町内からは8名が参加者し、新規創業や経営改善のためのスキルアップとして活用することができました。
- ・ 相島において、起業を目指している地域おこし協力隊が主体となって、地域活動団体や地元企業と連携した事業「Qでんにぎわい創業プロジェクト」に応募しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
新規創業の数（件）	—	2	2	3

施策－４ 農業の振興、農商工連携等に資する取組

本町の特性を活かした農業環境を充実させ、農業の活性化に取り組むため、付加価値の高い特産品などの開発や農業者の育成・支援に努めます。

また、荒廃農地などの利用促進を図るため、未利用農地の活用とともに、新たな担い手などの育成に努めます。さらに、これからの学校給食の実態を踏まえ、地元食材の活用などの推進に努めます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 農協を始めとする関係機関と連携して、技術講習会や研修会を行いました。また、法人への農地貸し出し、体験農園進出の認定を行いました。
- ・ 前年度に比べて「ひとまるの里」への需要が増加し、売り上げを伸ばすことができました。また、ひとまるの里や農協から学校給食へ地元食材の提供を行い、地産地消の推進へつなげることができました。
- ・ 人・農地プラン策定に向け、農協と協議を行い、農地利用の最適化を目指して検討を進めることができました。
- ・ 猟友会の担い手育成の一環として、罟免許取得者を増やすことができました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
認定農業者数（人）	21	22	22	23
ひとまるの里の売上高（千円）	253,087	248,049	267,105	255,000
ふるさと納税の返礼品における 農作物の売上高（千円）	270,000	311,000	411,700	300,000
有害鳥獣被害額（千円）	5,700,000	4,720,000	5,250,000	5,200,000
体験農園の数（箇所）	4	4	5	5
農業法人の耕作面積（a）	0	0	19	40

施策－5 水産業の振興、農商工連携等に資する取組

相島における漁業経営の安定化を目指しつつ、漁業者のやる気や新しい漁業へのチャレンジを促進するため、漁協や漁業従事者と協議を進めながら、新たな漁業や直販などを検討するとともに、漁業の担い手の育成・支援にも努めていきます。

① 令和2年度取組の概要

- ・ 国庫等の補助事業を活用して、ウニやアワビの種苗放流による漁場の再生活動や、いけま売り等のイベントなどの共同販売活動に対する支援を行いました。
- ・ 大型スーパー「ゆめマート」に魚の直接卸販売を行うなど、新規の販路拡大につなげることができました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
漁業従事者の所得（万円）	160	170	213	180
新規販路数（件）	—	—	1	2

＜基本目標2＞

地域への新しいひとの流れをつくる

(方向性)

地域ごとに異なる課題に対応するため、それぞれの特性を踏まえた施策を進めます。人口増加地域においても、将来的なU I Jターンにつながる地域への愛着の形成や地元就職などの促進、シティプロモーション活動を図っていきます。

人口減少地域においても、個別の現状を踏まえて定住化を図り、様々な世代や来訪者との交流の場づくりを含め、新しい人の流れを生み継続させる仕組みや環境づくりを検討し進めていきます。

さらに、観光客や来訪者に向けた周遊の仕組みなどを提供し、地域経済の活性化を図る取組を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
平均日中滞在人口 (人)	26,969	27,485	—	28,800

(資料：地域経済分析システム)

施策－1 将来的なU I Jターンや地元の就業の促進に資する取組

地域の少子高齢化も大きな課題ではありますが、同世代の偏りが大きい地域でも将来、急激な高齢化の到来が懸念されます。将来を見据えU I Jターンなどで地元での就業や定住につなげるため、郷土への愛着の醸成に取り組みます。

① 令和2年度取組の概要

- ・ 町の広報誌やホームページだけでなく、新聞やフリーペーパー誌及びテレビ局と連携し、積極的に町の魅力を発信しました。
- ・ アビスパ福岡との連携事業においてPR活動を実施しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
シティプロモーション実施数(累計) (件)	4	3	3	20

施策－２ 関係人口づくりや、地方創生を担う人材・組織の確保に資する取組

本町には大型商業施設などもあり、週末には町外から多くの方が訪れています。また新たに住民になった人も多くいます。町内居住者に限らず、新宮町での消費活動・地域活動・サークル活動などを行う人々をさらに町内の取組に関わっていただく仕組みづくりを進めます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 相島において、起業を目指している地域おこし協力隊への支援として、地域活動団体や地元企業と連携した事業に着手しました。
- ・ 農業集落における未耕作地を有効活用するために任用した地域おこし協力隊が、新たな特産品開発に向けて取り組みました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
体験型イベント参加者数（人／年）	1,088	1,978	0	1,150
地域おこし協力隊人数（人）	4	5	5	4

施策－３ 町内の人口減少地域(相島を除く)での定住促進や環境整備に資する取組

本町においては、国道３号東部の的野や立花口を中心に人口減少が進む地域における地域活動の維持や活性化が求められています。そのため、幅広い世代の定住化に向けた仕組みや環境づくりに取り組むとともに、交流拠点の整備など地域の実情を踏まえた活性化や賑わいづくりの取組を進めます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 県が実施する空き家活用サポートセンター「イエカツ」の紹介や福岡県内全市町村の共同相談会への協賛などを行いながら、空き家活用の調査・研究を実施しました。
- ・ 地方創生拠点整備交付金を活用して立花口地区で古民家の改修を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
古民家交流拠点来場者数（人／年）	—	—	—	1,000
空き家の利用件数（件）	—	—	—	2

施策－４ 相島における定住促進や環境整備に資する取組

相島活性化協議会を中心に、島の将来を見据えた「相島活性化プラン」の実現を島民との協働で進めるとともに、さらに地域振興につながる取組を進めていきます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ お試し宿泊施設として、「stay house 檣」を整備・運営しました。また、「相島まるごとサードプレイス化計画」を作成し、Qでんにぎわい創業プロジェクトへの応募を行い採択されました。
- ・ 空き家の実態を把握し、不動産業者と協議の上、移住希望者がいる場合は仲介窓口となるよう調整を行いました。
- ・ 漁村留学においては、小学生１６名、中学生４名を受け入れました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
空き家バンクマッチング件数 (件)	—	—	0	5

施策－５ 観光振興に資する取組

一般社団法人新宮町おもてなし協会を中心に商工会、農協、漁協などの関係団体と連携し、新たに開発された特産品や地元製品の販売などを通して観光PRを進めます。また、町内の自然、文化、産業などの資源や地域で活躍する人材を活用した観光イベントなどの実施を支援していきます。さらに、周辺市町と観光情報の発信やイベントを共催し、地元企業や町内活動団体との連携による観光振興を支援します。

① 令和2年度取組の概要

- ・ 観光パンフレット等の多言語化を図りました。また、町内を散策するルートにおいて、見どころとなる地域に案内看板を設置しました。
- ・ 宗像・糟屋北部地域広域連携プロジェクト推進会議(しこふむ)でFacebookを活用して地域イベント、見どころ、特産品を紹介しました。県庁ロビー企画展においては、新型コロナウイルス感染症の影響のため特産品の販売はできませんでしたが、ポスター等による観光PRを行いました。
- ・ 相島積石塚群の遺跡環境を維持するため、史跡内に繁茂する雑草の伐採作業及び海岸からの飛散ゴミを除去し、その保護に努めました。また、横大路家住宅の維持管理事業として避雷針や自動火災報知器などの防災設備の点検を実施しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
体験型イベント実施事業所数 (所)	20	13	0	25
宿泊施設数 (件)	2	3	3	4
観光ガイド登録者数 (人)	0	0	0	5
観光イベント広域連携数 (件)	4	2	2	6
多言語案内実施箇所数 (箇所)	2	2	2	3

＜基本目標3＞

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

(方向性)

若い世代の経済的安定を図るとともに、妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援や子ども・子育て支援の充実を図っていきます。また、家族が働きながら安心して妊娠・出産・子育てができるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図ります。

また、外国人が地域へなじむことができるよう、多言語による支援や地域との橋渡しができる体制の構築を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
合計特殊出生率（％）	1.90	1.86	1.78	1.94

（資料：福岡県保健統計年報及び住民基本台帳より算出）

施策－1 結婚に資する取組

比較的若年層が多い本町では、地域の担い手として地域に残り、また、定着してもらう必要があります。このため、結婚を希望する人たちの出会いを支援します。

① 令和2年度取組の概要

- ・ 宗像・糟屋北部地域広域連携プロジェクト推進会議(しこふむ)で予定していた婚活イベントは新型コロナウイルス感染症の影響のため実施できませんでしたが、福岡県離島振興協議会が主催する県内離島の男女を対象とした婚活イベントは実施することができました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
出会いの場支援件数 (件)	1	2	1	3

施策－２ 健やかな子育て支援に資する取組

妊娠から乳児期の親の負担軽減を図るため、安心して出産し、子育てができるよう、妊婦、乳児の健康状態の把握から必要な相談・指導を行うことができる体制を構築していきます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 特定不妊治療費については、令和３年度の実施に向け、県や町独自の助成について検討を行いました。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら乳幼児健診や相談、教室（離乳食・マタニティ・パパママ等）、発達支援事業を実施しました。また、乳児全戸訪問については、緊急事態宣言中は訪問を中止し、電話による育児相談を行い不安の軽減に努めました。
- ・ かんがるー広場については、緊急事態宣言中の閉所や各種イベントの自粛を余儀なくされながらも可能な限り交流、相談を実施しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
乳幼児健診未受診児のフォロー率 (%)	100	100	100	100
かんがるー広場利用者数（人）	15,472	14,344	4,677	14,000

施策－３ 子育て支援に資する取組

共働き世帯やひとり親家庭の増加など、新たな幼児教育・保育ニーズに的確に対応するとともに、就学前の子どもたちの健やかな成長と良好な子育て環境を充実していきます。また、子育てに関する負担などから就労等を断念する事がないよう、保育所等の充実を図ります。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 管内の特定教育・保育施設において一時保育を実施し、保護者の緊急時等の保育サービスを実施しました。
- ・ ０歳～３歳児において定員を超えて受け入れを行った施設に対し、保育士への現金給付の他、制服やエプロン等の保育士の自費購入備品等を配布するなどの補助を実施し、保育士への処遇の改善に努めました。
- ・ 児童虐待予防・早期発見のために、児童相談所や警察・学校との連携を図りながら対応

を行うとともに、要保護児童対策地域協議会を定期的実施し、要保護児童に対する町の取組について情報共有を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
保育所待機児童数（人）	35	21	43	0
ファミリーサポート会員数（人）	260	329	320	330

施策－４ 義務教育期間の子育て支援に資する取組

教育・学童保育に関する保護者のニーズを的確に把握しながら、教育・学童保育環境を向上させていくとともに、子育てに関する情報共有や悩みを解決するため、地域での子育てを支援します。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 各小・中学校のPTA及び行政区から出された通学路の危険箇所を取りまとめ、粕屋警察署や福岡県土整備事務所と現地を視察しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策を模索しながら、こども体験クラブを実施しました。
- ・ 子育て家庭の医療費軽減のため、未就学児から中学生までの医療費の助成を実施するとともに、福岡県こども医療支給制度による所得制限以上の対象者についても、新宮町独自で助成を行いました。
- ・ 就学援助の支給については、認定要件を生活保護基準の1.4倍に引き上げ、支給基準の緩和を図りました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
通学合宿実施箇所数（箇所）	6	6	0	8
ジュニアリーダー等活動回数（回）	12	12	1	15
学童保育所待機児童数（人）	57	53	45	0
就学援助支給要件（倍） ※生活保護基準をベースとする。	1.4	1.3	1.4	1.4

施策－５ 男女、多文化な人材がともに参画し支え合う環境づくりに資する取組

女性の社会進出が進む中、自らの意思・選択に応じて働くために、労働環境や職場風土など、働きやすい環境づくりや女性の再雇用について推進していくとともに、働く人々が仕事と家庭の両立ができる環境づくりを支援していきます。

また、外国人が増加することが見込まれることから、お互いの文化を尊重した地域社会の創造に努めます。

① 令和２年度取組の概要

- ・ 人権フェスティバルでは、男女共同参画を啓発するとともに、町広報誌にも掲載して周知を図るなど、広く啓発を行いました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら、父親向けの体験事業を４回実施しました。
- ・ 就労を希望する障がい者に対して、本人の意向や能力を聞き取り、相談支援事業者と連携しながら本人にあった就労先を勧めました。
- ・ 宗像・糟屋北部地域広域連携プロジェクト推進会議(しこふむ)において外国人住民を円滑に地域に受け入れるため、粕屋中南部地域と合同で、「外国人との共生」に関する調査研究を行い、現状把握、問題点の整理、意見交換を行いながら、地域での取組について検討しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
町内企業への男女共同参画啓発件数 (件)	2	1	0	7
町民への男女共同参画啓発件数 (件/年)	0	2	2	1
男性のパパママ教室参加者数 (人)	48	36	32	増加

〈基本目標4〉

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(方向性)

急速な人口増加により、都市構造が大幅に変化している中で、各地域の実情に即した新しいコミュニティづくりを進めていくとともに、人口減少が進む地域においては、地域振興策の推進により、地域の魅力を高めていくことで、町民が将来にわたって安全・安心で豊かな生活を営むことができる町を構築していきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
自治会加入世帯率 (%)	82.0	80.4	80.0	90.0

(資料：行政区加入世帯調査)

施策－1 高齢者の就労や活動参画など生涯活躍に資する取組

定年後も、健康で自立した生活を送りたい高齢者の就業や、地域活動への参画を支援し、生涯活躍のまちづくりを進めます。また、ひとり暮らしの高齢者などへの声かけや、健康教室などの行事への機会を提供し、社会参加を支援します。

① 令和2年度取組の概要

- ・ シルバー人材センターに対して、ふれあい交流館に事務局を移転するための支援を行いました。
- ・ シニアクラブには、ふれあい交流館を活動の場として提供し、会員相互の交流を深めました。
- ・ 地域サロン運営者支援のために「地域健康教室」を各行政区年2回から3回を月1回までに変更し、より利用しやすい体制を整えました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で各種行事等が中止となったため、介護予防サポートポイント事業を後押しするため、申請可能ポイントを引き下げるなどの対応を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
シルバー人材センター会員稼働率 (%)	100	90	90	100
介護予防活動の参加人数 (人)	943	924	518	1,000

施策－2 スポーツ等の健康まちづくりに資する取組

「スポーツ推進（振興）計画」の策定を進め、健康でいきいきと活動できる機会や場の提供をしていきます。

① 令和2年度取組の概要

- ・ アビスパ福岡と連携し、世代間交流と健康増進を目的に、新宮町スポーツ協会と新宮町シニアクラブが参加し、地域交流フェスタを開催しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
プロスポーツチーム連携事業数 (件)	—	—	1	3
ウォーキングイベントの参加者数 (人)	471	470	0	500

施策－3 防災・防犯等の安心して暮らせるまちづくりに資する取組

近年の局地的集中豪雨などの大規模な自然災害の発生を踏まえ、災害に強いまちづくりを行うため、地域防災計画や防災マップ（ハザードマップ）を適宜見直し、住民の安全確保や支援に取り組んでいきます。また、定期的な防災訓練や自主防犯活動などを支援するとともに、防災・防犯の体制づくりや施設の整備・改修を計画的に実施していきます。

① 令和2年度取組の概要

- ・新宮町消防団第1分団の積載車を更新したほか、各分団の格納庫の修繕・整備を行いました。
- ・相島地区の急傾斜地については、工法変更を検討するため、用地測量を実施しました。
- ・防犯灯管理を確実にするため、防犯灯管理システムを導入し、既存防犯灯のLED化や新規設置などの防犯対策を進めました。
- ・事故が多発している湊区の交差点に、カラー舗装工事を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
自主防災組織の数(団体)	7	7	8	12
消防団員数(人)	238	238	239	246
自主防犯団体の組織数 (団体)	3	3	3	6

施策－4 地域コミュニティの維持や、まちづくり活動の活性化に資する取組

今後のまちづくりを進めるに当たり、新興住宅地区や高齢化の進む地区などの地域の特性を踏まえたコミュニティの在り方について検討し取り組んでいきます。

① 令和2年度取組の概要

- ・コミュニティ・スクールの会議については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも回数の見直しや役員のみで行うなど、規模を縮小して可能な限り実施しました。
- ・まちづくり活動支援団体については、活動休止等により登録取り消し団体があったものの、新規登録団体も得ることができました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
まちづくり活動支援団体登録数 (団体)	23	20	21	30
協働のまちづくり研修参加人数 (人)	103	123	0	150

施策－5 自然環境の保全やSDGs等の持続可能な社会づくりに資する取組

地域住民、関係団体、行政などの協働による保全活動を積極的に推進していくとともに、自然環境を活用した環境整備を検討し推進します。

① 令和2年度取組の概要

- ・福岡県森林環境税を活用し、立花口区内の森林において、強度間伐と侵入竹伐採の荒廃森林整備工事を実施しました。
- ・第6次新宮町総合計画において、環境施策にもSDGsとの関連付けを行いました。また、計画策定においてもSDGsの考え方などを職員などに対して研修を行い、町で策定する各計画においてもSDGsを意識したものになるよう啓発を行いました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
新宮町クリーン作戦参加者数(人)	2,200	0	0	2,400
松林保全活動参加者数(人)	833	752	107	840
森林整備面積(ha)	46.1	60.4	71.5	130
SDGs啓発回数(件)	—	—	4	5

施策－6 地域交通等のインフラの維持や最適化に資する取組

利用者ニーズや外国人の来訪を踏まえながら、最適で安定したバスや渡船の運行、利用しやすい公共交通機関としての環境整備に取り組んでいきます。

① 令和2年度取組の概要

- ・バスロケーションシステムの公開を行いました。また、P a y P a yの導入や乗船券販売機のI Cカード決済導入に向けての検討・準備を行いました。
- ・各バス停の時刻表と、修繕に合わせて一部バス停のローマ字表記を実施しました。また、町営渡船については、多言語対応の乗船券販売機を導入しました。
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業では、69件の自主返納者を支援しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
案内表示の多言語化実施件数(件)	—	—	3	10
西鉄新宮駅乗降客数(人/日)	1,422	1,428	1,172	1,600

施策－7 地域におけるS o c i e t y 5 . 0の推進に資する取組

産業構造の変化に柔軟に対応できるよう、本町の産業への情報提供などを進めるとともに、行政の機能も新たなサービスなどに対応し利便性のよい仕組みの導入などを進めていきます。

① 令和2年度取組の概要

- ・福岡都市圏と共同で年齢別人口、公共施設位置情報、避難所情報、学校の児童生徒数の4つを継続してオープンデータとしてセットし公開しました。
- ・R P A導入に向けて、アンケートにより職員の意識調査を実施しました。また、ふくおか電子自治体共同運営協議会の共同事業を活用し、A Iチャットボットを使った住民移動に関する質問の回答を試行的に実施しました。
- ・福岡工業大学との包括的連携に関する協定に基づき、学生主導で町内小学校を対象にプログラミング教育のベースとなる論理的思考や最適化・統計に関する体験授業を実施しました。

② 目標値の現状

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	現在値 (R2)	目標値 (R6)
オープンデータデータセット数 (件)	4	4	4	10
未来技術活用事例件数 (件)	—	—	1	5